

HOT

コミュニケーション

ふくろうがいっぱい



あえ～る、ふれあい倉庫を会場に当別ふくろうの会が主催してふくろう展を開催。6日の陶芸「ふくろう笛をつくろう」では、小学生から大人まで15名が参加してねんどをふくろうにかたどって飾りつけをしました。

落語家の柳亭久楽さんと元HTBアナウンサー長谷川宏和さんが「笑いと癒やしの夕べ in 当別」を開催し、社会風刺の漫才で会場を笑いの渦に巻き込みました。7日には、会員が打ったそばが振舞われました。

会場には、ふくろうに関する展示が多く並べられ、来場者を楽しませました。(10月6日・7日)

暖かいおそばでおもなし



そば処福住が脳梗塞などで体に障がいを抱える方が所属しているサークル「ねこやなぎの会」を招いて、てんぷらそばを無料で提供しました。オーナーの鶴野さんは、毎年福祉団体を無料で招待する活動を続けています。

会員の14名は「温かいそばを食べると元気が出てくる」と満足そうでした。(10月10日)

子育てを学ぼう



町内の中高生に子育てへの知識を学んでもらおうと子育て講座を実施。

当別中学校3年生の生徒が、家庭科の授業で作ったボールを利用して当別幼稚園園児とサッカーや棒倒しなどのゲームを楽しみ、遊びやふれあいを通して子育てを学びました。

(10月5日)

地域で災害に備える



太美の5つの町内会(中央、東、西、北、寿)が合同で地域防災力強化研修を開催しました。

地域安心安全ステーション整備モデル事業の防災資機材がお披露目され、災害図上訓練の研修を行いました(10月21日)

女流棋士と対局



日本棋院当別支部が主催して女流棋士の青葉かおり四段を招いて指導囲碁の集いを開催。会員が四面打ちで次々に青葉四段に挑んで、会員や見学者は、プロの打ち筋に熱い視線を送っていました。

(10月8日)

広 告



芸術の秋 音楽・絵を通して岩出山と交流

歌声を通して岩出山と交流



平成14年に初めて開催された当別ふくろう音楽祭が今年で6回目を迎えました。

会場の当別中学校には、約400名の観客が集まり、町内で活動する合唱団や吹奏楽団など9団体が参加したほか、6年ぶりに岩出山スコレハウス合唱団も参加し、息の合った歌声を披露しました。

最後には、参加者全員で合唱し、歌声が会場内に高らかに響き渡りました。(10月14日)

絵を通して互いの町を知る



当別と岩出山のロータリークラブが当別と大崎市岩出山地区の児童の交流を目的に児童交流絵画展を開催しました。

伊達記念館や有備館など両町にゆかりのある作品が当別から42点、岩出山からは37点が集まり、優秀作品を両地域のロータリークラブの手で表彰されました。絵画は岩出山小学校、当別町内の小学校に展示され、お互いの地域を知るよい機会になりました。

広 告